

# 週間市場レポート (2020年6月22日~6月26日)

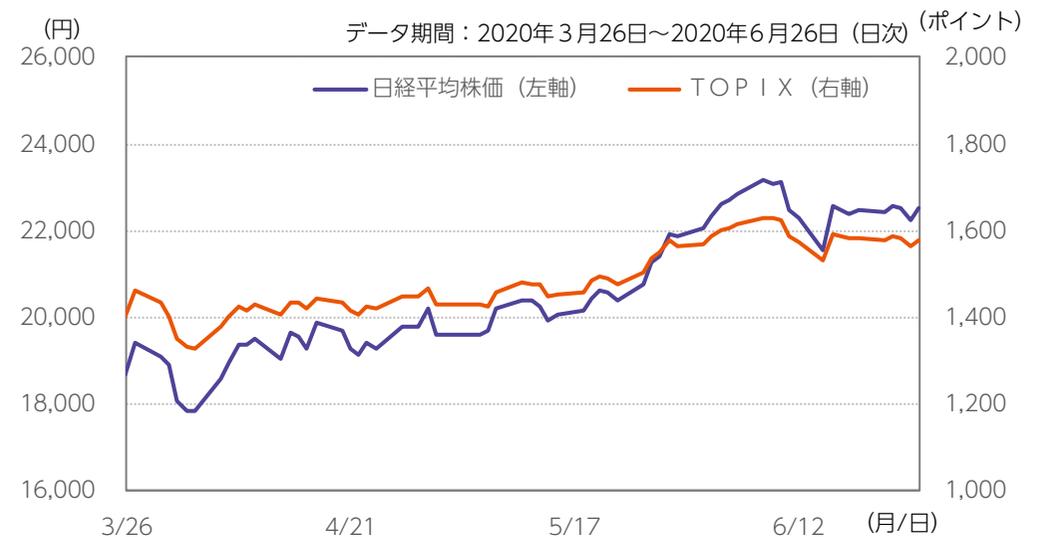
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/6/19	先週末 2020/6/26	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		22,478.79	22,512.08	0.15 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,582.80	1,577.37	▲0.34 ↘
ダウ工業株30種平均 (ドル)		25,871.46	25,015.55	▲3.31 ↘
S&P500種指数		3,097.74	3,009.05	▲2.86 ↘
ユーロ・ストックス50指数		3,269.10	3,204.17	▲1.99 ↘
S&P/ASX300指数		5,911.04	5,867.06	▲0.74 ↘
上海総合指数		2,967.63	2,979.55	0.40 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)*		807.45	808.65	0.15 ↗
東証REIT指数		1,684.76	1,710.36	1.52 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		671.45	644.26	▲4.05 ↘
ASX300 REIT 指数		1,272.00	1,246.30	▲2.02 ↘
グローバルREIT (除く日本)*		158.31	153.35	▲3.14 ↘
日本10年国債 (%)		0.02	0.01	▲0.01 ↘
米国10年国債 (%)		0.69	0.64	▲0.05 ↘
ドイツ10年国債 (%)		▲0.42	▲0.48	▲0.07 ↘
英国10年国債 (%)		0.24	0.17	▲0.07 ↘
ドル/円		106.87	107.22	0.33 ↗
ユーロ/円		119.46	120.28	0.69 ↗
英ポンド/円		131.99	132.26	0.21 ↗
豪ドル/円		73.05	73.61	0.76 ↗
フィラデルフィア半導体指数		1,966.79	1,921.92	▲2.28 ↘
WTI原油先物 (ドル)		39.75	38.49	▲3.17 ↘
CRB 指数		137.97	134.41	▲2.58 ↘
アレリアンMLP指数		803.77	719.59	▲10.47 ↘

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。都道府県をまたぐ移動制限の解除後以降、東京都での新型コロナウイルスの新規感染者数が増加していることを背景に、感染第2波への警戒感から、25日（木）まで売りが優勢となりました。ただし、週末は、前日に金融株を中心に米国株式市場が上昇した流れを受け上昇し、週間ではほぼ横ばいとなりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース \*1 ▲はマイナスを表します。 \*2 上海総合指数は、端午節で休暇のため2020年6月24日のデータ

≪ 債券 ≫

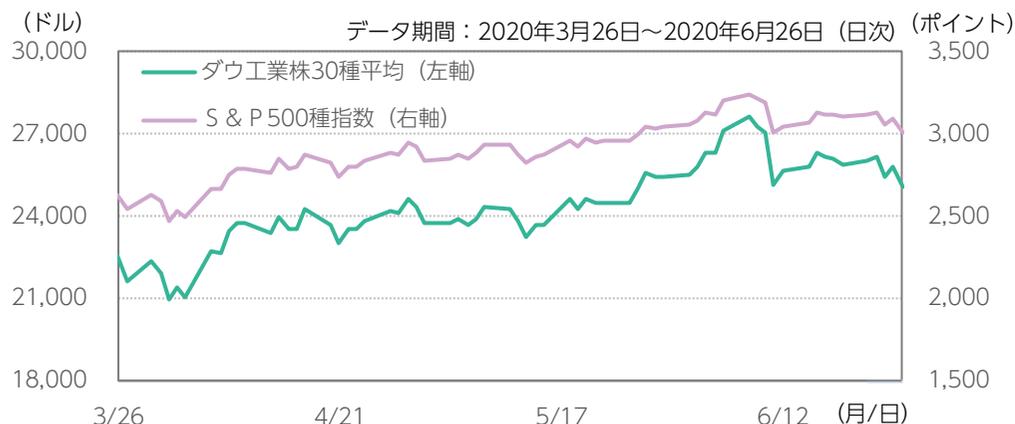
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。  
週前半は、新型コロナウイルスの感染再拡大による経済活動の停滞懸念から相対的に安全資産とされる債券は買いが優勢となりました（利回りは低下）。週末の日経平均株価上昇を受け、国内債券が売られたものの（利回りは上昇）、週間では前週末比で低下となりました。



3) 米国の株式市場

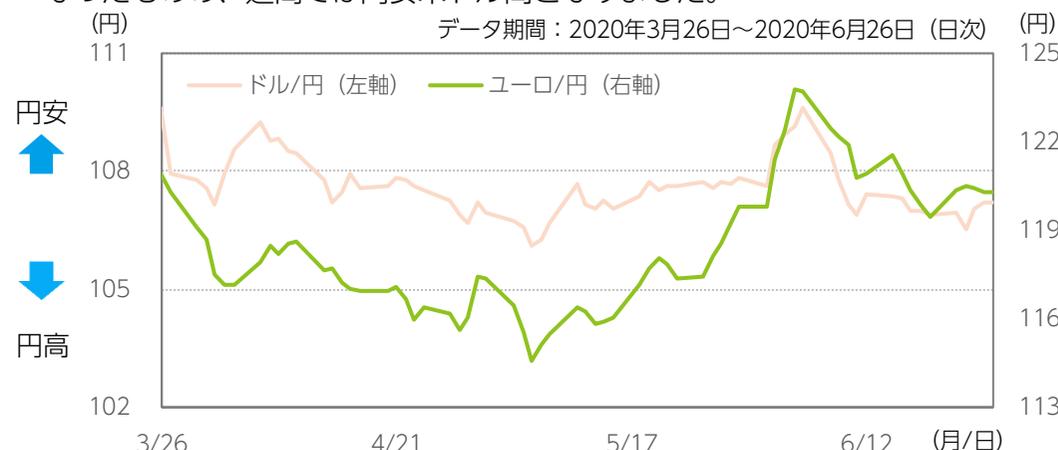
≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で下落となりました。  
週前半は、トランプ米大統領が新たな景気刺激策を検討しているとの報道を受け、ハイテク株を中心に上昇となりました。その後は、米国内で1日あたりの新型コロナウイルス新規感染者数が過去最高を更新し、感染第2波への警戒感から下落基調となりました。



4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。  
米国景気の回復期待から投資家のリスク選好姿勢が強まり、週央までは相対的に低リスク通貨とされる円は売りが優勢となりました。その後は、米国での新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念から、円買い米ドル売りが優勢となったものの、週間では円安米ドル高となりました。



5) 今週の見通しについて

米国での新型コロナウイルスの1日あたり新規感染者数が過去最高となるなど、感染再拡大による経済活動の停滞懸念の高まりなどから、米国株式市場は前週末比で下落となりました。国内でも、26日（金）に1日あたり新規感染者数が105人となり、およそ1カ月半ぶりに100人を超えました。また、1日の感染者数の約半数を東京都が占めるなど大都市圏での感染が目立ちます。米国では、ニューヨークなど東部3州が感染者数の多い州からの訪問者に対し14日間の自主隔離の要請を行ったことなどから、米国経済回復の停滞懸念が高まっています。

欧米やアジア諸国を中心に経済活動が再開されていますが、新型コロナウイルスの感染拡大を完全に抑制することができないため、感染の拡大が続いています。今週の株式市場も、世界における感染者数の増加と感染第2波への警戒感から、引き続き下落基調をたどるものと予想します。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>